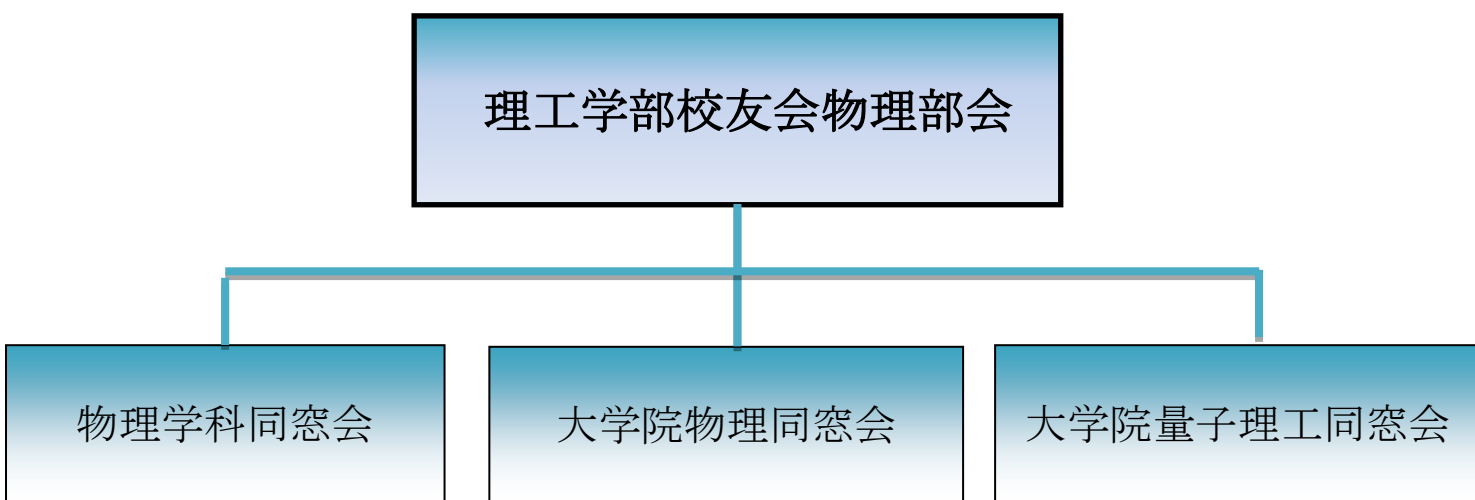


日本大学理工学部校友会物理部会

理工学部物理学科は、1958年4月に創設され、1962年3月に第1回生8名を世に送り出している。その1回生を中心に1964年（推測）同窓会が結成され、鮫島隆展会長（1回生）、野木靖之副会長（2回生）が選出された。会則に4年毎の総会・懇親会の開催を含む物理学科同窓会の現在の形は、1988年（平成元年）の総会時には確立されている。これと別に、理工学部卒業生全体の同窓組織である工学部（旧工科）校友会があり、1955年には広報誌「桜工」を発刊し、各学科校友会部会に入会費の一部を部会活動費として割戻す支援体制を整えていた。物理学科同窓会は、同組織を外部的には校友会物理部会として位置づけ、野木靖之（1回生）、齋藤勝宣（5回生）等が校友会役員として事業協力に務めた。また、この体制で物理学科同窓会会長と校友会物理部会会長が並立する不都合を避けるため、2004年の第10回同窓会総会において服部保（10回生）物理学科同窓会会長を校友会物理部会会長とし、以後この形態が続くことになった。

このような同窓会の歴史と並行して、1965年3月に大学院物理学専攻が第1回生を輩出し、ゆるやかではあるものの卒業生の数を増やしていた。これらの専攻卒業生は殆どが物理学科の卒業生でもあるため、当初は同窓会の形態を変える必要もなかったが、時代の変遷と共に他学部・他大からの学生も含まれるようになり、大学院同窓会を独立させる機運が生じ、1986年10月に設立総会を開催し、野木靖之（同専攻1回生）を会長とする日本大学大学院物理同窓会が発足した。しかし、校友会の部会としては依然として物理部会があるのみで、また1994年3月より、大学院量子理工学専攻からも卒業生が輩出されるようになったため、同窓会の形態を根本的に整理する必要が生じた。このような背景の下で、2012年の総会において物理学科同窓会、大学院物理同窓会、及び新たに設置された大学院量子理工同窓会を構成部会とする、理工学部校友会物理部会が発足した。



物理学科同窓会会則
平成元年11月12日制定
平成12年10月14日改定
平成24年10月20日廃止

物理学科同窓会内規
平成24年10月20日制定

大学院物理同窓会規約
昭和61年10月19日制定
平成24年10月20日廃止

大学院物理同窓会内規
平成24年10月20日制定

大学院量子理工同窓会内規
平成24年10月20日制定